

北陸支部報

2025/8/7
第24号

【北陸支部講習会実施状況】



「UAV 取得データを用いた写真測量と地形図作成」
(R7年5月15日・16日)



「路線測量設計課程Ⅰコース(Web講習)」
(R7年5月20日～23日)

目次

令和7年度北陸支部業務報告会	2
令和7年度北陸支部役員名簿	4
公共測量品質管理優秀賞3社を表彰	5
令和7年度北陸支部空間情報技術事例発表会開催	6
令和7年度北陸支部事業計画	11
行事等の報告	13
令和6年度会員の増減状況	14



公益社団法人

日本測量協会

北陸支部



令和7年度 北陸支部業務報告会

北陸支部では、7月8日（火）に金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、令和7年度北陸支部業務報告会を開催しました。

北陸支部の業務報告会は、会員の皆様が直接参加しやすい環境を整備するために会員の皆様のより近い場所で開催することとしております。新潟県、富山県、石川県、福井県と順次開催をしており、今回は石川県での開催となりました。

大西支部長から挨拶の後、日本測量協会清水会長から「今年度の協会本部の事業は、前半は概ね好調だった。将来の会員サービスの向上、広報の強化、検定事業などを今後も推し進め、業界全体の活性化を全国に拡げていきたい」と挨拶がありました。

この後、事務局から令和6年度支部業務報告の要旨、収支状況及び令和7年度の事業計画の要旨、予算について説明と報告を行いました。

また、令和7年度の役員については、各県の（一社）県測量設計業協会に役員改選等がなかったことから前年度と変更がない旨の報告を行いました。



【大西支部長による挨拶】



【清水会長による挨拶】



《会場の様子》

令和7年度 北 陸 支 部 業 務 報 告 会

- | | | | |
|----|---------------|-----------|-------|
| 1. | 支部長挨拶 | 北陸支部 支部長 | 大西 宏治 |
| 2. | 本部挨拶 | 日本測量協会 会長 | 清水 英範 |
| 3. | 北陸支部業務報告 | 北陸支部 事務局長 | 小嶋 幸男 |
| 4. | 公共測量品質管理優秀賞表彰 | | |

支部長挨拶（業務報告会）

大 西 宏 治

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました北陸支部長の大西です。本日はご多忙の中、令和7年度 公益社団法人 日本測量協会 北陸支部 業務報告会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本年度の業務報告会は、石川県地場産業振興センターにて対面形式で開催することができ、大変うれしく思っております。業務報告会自体は私が支部長となっても対面ではありましたが、このような機会を持たないと直接お会いして情報を共有する機会も得られません。皆さまと顔を合わせられたことを感謝しております。

令和6年1月に発生した能登半島地震や9月に発生した奥能登豪雨により、甚大な被害が発生しました。昨年度だけでなく、今年度も復旧・復興にみなさまの業務は大変多忙になっていると思います。その中、このようにお集まりいただき、この会の重要性を改めて認識しているところであります。

さて、測量・地理空間情報分野を取り巻く環境には、急速な技術革新が起こっています。UAVや3Dレーザースキャナ、AIによる解析など、過去には経験できないぐらい、さまざまな業務が効率化し、猛暑への働き方の対応も迫られ、仕事の仕方も考え直さねばならないときになっています。この変化への対応は、地域社会への貢献にもつながるものと信じております。私たち北陸支部は「技術の研鑽」と「人材育成」を柱に、各種講習会や事例発表会を通じて、会員の皆さまの活動を支援してまいりました。

本日の業務報告会では、令和6年度の活動実績を振り返るとともに、令和7年度の事業計画についてご説明いたします。また、引き続き開催される「空間情報技術事例発表会」では、会員の皆さまによる先進的な取り組みや実務に根ざした発表を通じて、知見を深めていただければと存じます。

最後になりますが、日頃より当支部の活動にご理解とご協力を賜っております関係各位に、改めて厚く御礼申し上げますとともに、本日の会が実り多きものとなりますよう祈念し、挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

令和 7 年度 北陸支部役員名簿

支 部 長	大 西 宏 治	富山大学 人文学部 教授	
副支部長	新 家 久 司	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 国土開発センター	会長 代表取締役社長
〃	中 西 誠 一 郎	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) 帝国コンサルタント	会長 代表取締役社長
幹 事 長	佐 治 力	(一社) 新潟県測量設計業協会 新潟県上越国土測量 (株)	会長 代表取締役社長
幹 事	荒 井 隆 二	(一社) 新潟県測量設計業協会 荒井測量設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	大 塚 秀 一	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) アイテック	副会長 代表取締役社長
〃	岩 野 靖	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 信和測量設計社	副会長 代表取締役社長
〃	市 森 友 明	(一社) 富山県測量設計業協会 N i X J A P A N (株)	会長 代表取締役社長
〃	寺 島 雅 峰	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 寺島コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	今 川 健 治	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 上智	副会長 代表取締役社長
〃	磯 野 秀 和	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 北日本ジオグラフィ	副会長 代表取締役社長
〃	黒 木 康 生	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 日本海コンサルタント	専務理事 代表取締役社長
〃	栗 波 啓 治	(一社) 福井県測量設計業協会 中央測量設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	奥 居 淳	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) サンワコン	専務理事 代表取締役社長

公共測量品質管理優秀賞 3 社を表彰

○賞の概要

国や地方公共団体等が実施する公共測量は、「作業規程の準則（国土交通省告示）」により実施し、この中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で計画機関が指定したものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならない。」ことが規定されています。

当協会は、測量成果及び測量機器を検定する第三者機関として登録しており、平成 17 年 4 月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を機に、当協会が検定した測量成果の中から、優れた品質管理がなされている測量作業機関を「品質管理優秀賞」として毎年表彰し今年で 21 回目となります。

○令和 7 年度の受賞

当協会が前年度に測量成果の検定をした全国の測量作業機関の数は、基準点測量部門では 1716 社、地図作成部門では 430 社ありました。このうち、基準点測量部門から 28 社、地図作成部門から 7 社の合計 35 社が、今年度の受賞社として決定しました。

北陸支部管内からは、株式会社北日本ジオグラフィ（石川県金沢市）様は初めての受賞、株式会社サンワコン（福井県福井市）様は 7 回目の受賞、N i X J A P A N 株式会社（富山県富山市）様は 3 回目の受賞となる 3 社が、基準点測量部門から受賞されました。

表彰は、7 月 8 日の北陸支部業務報告会に引き続いて表彰式を行い、清水会長から記念の盾と副賞が手渡されました。



【株式会社北日本ジオグラフィ 様】



【株式会社サンワコン 様】



【N i X J A P A N 株式会社 様】



【会長・支部長と受賞者の皆様】

令和7年度 北陸支部空間情報技術事例発表会開催

令和7年度公益社団法人日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会は、金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、業務報告会に引き続いて会場聴講者等40名、オンライン参加32名の方が参加して開催されました。

冒頭、大西支部長から挨拶があり、その後4名の発表者から、自身が体験した測量作業等について発表していただきました。各自発表時間15分、質疑応答5分という制約の中で、発表のまとめ方や質問対策等大変苦労されたことと思います。

全ての発表が終了した後、審査員以外の皆様は懇談会場に移動して、審査結果が出るまでの間、和やかに歓談され、審査結果を今か今かと心待ちにしていました。

審査員の方々は、そのまま発表者4名の発表内容について審査・得点集計・意見交換に移り入賞者の選考を確認しました。

今回の審査は、これまでと同様に、①発表の着眼性、②まとめ具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の

5項目による評価基準により行なわれました。

審査の終了後、審査員も懇談会の歓談に加わり、しばらくした後、大西支部長の開会の挨拶に始まり、国土地理院北陸地方測量部白井部長から来賓の挨拶、石川県での開催にご尽力いただいた石川県測量設計業協会新家会長の挨拶がありました。

次に成績発表が行われ、最優秀発表賞に株式会社東洋設計の山田大立さん、優秀発表賞に株式会社国土開発センターの松山陽さんが選ばれ、両名に賞状と記念品が贈呈されました。

続いて審査員の金沢工業大学中野教授から発表会の講評をいただきました。

最後は清水会長の中締めで、この日予定されていた全ての行事を盛況裏に終了しました。

お忙しい中、発表にご協力いただきました会社の皆様、審査のご協力をいただきました審査員の皆様、本当に有り難うございました。

来年は福井県での開催を予定しておりますので、積極的な応募をお待ちしております。

空間情報技術事例発表会プログラム

◎挨拶

15:10

北陸支部支部長

大西 宏治

◎発表

15:25～15:45

① 「航空レーザ点群（DEM1A）の活用事例について」

株式会社 北日本ジオグラフィ

伊崎 瑛一

15:50～16:10

② 「地すべり調査における3次元データの活用」

株式会社 国土開発センター

松山 陽

16:20～16:40

③ 「クラウドGISでつながリアルタイム災害復旧情報

ー令和6年能登半島地震での事例ー」

株式会社 東洋設計

山田 大立

16:45～17:05

④ 「三次元計測の活用事例」

株式会社 日本海コンサルタント

長田 遥伽

◎審査員

- 審査員長 大西 宏治（日本測量協会 北陸支部長、富山大学 人文学部 教授）
- 審査員 白井 宏樹（国土地理院 北陸地方測量部長）
渡部 秀樹（北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 工事品質管理官）
大井 秀紀（石川県 土木部監理課 技術管理室長）
中野 一也（金沢工業大学 工学部環境土木工学科 教授）
清水 英範（日本測量協会 会長）

支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）

大 西 宏 治

本日はご多忙の中、「令和 7 年度 日本測量協会北陸支部 空間情報技術事例発表会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。北陸支部を代表し、心より御礼申し上げます。

本発表会は、測量・地理空間情報分野における最新の技術や実践事例を共有し、会員相互の知見を深める貴重な機会です。今年度は北陸支部の中から 4 件の発表がございます。空間情報技術の現場での活用というその実践知に触れることができるのは、私たちにとって大きな刺激であり、学びの場であります。また能登半島地震や豪雨災害を踏まえた復旧や復興に関する業務で活用された成果も報告されます。まだ数年は復興事業に関わる会員のみなさまも多く、こういう場で技術の知見を交換することも大切だと思います。

近年、地理空間情報は防災・減災、インフラ維持管理、都市計画、さらにはカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みにおいても、ますます重要な役割を担っています。北陸地域においても、さまざまな課題に対応したまちづくりにおいて、空間情報が不可欠です。

そのような中で、私たち測量・空間情報技術者が果たすべき使命は大きく、そして多様化しています。本日の発表会が、皆さまの技術力と創造力をさらに高め、地域社会の持続的な発展に寄与する一助となることを願ってやみません。

最後になりますが、本発表会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係各位、そして発表者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、本日ご参加の皆さまにとって実り多い一日となりますことを祈念し、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

空間情報技術事例発表会・懇談会写真集



挨拶する大西支部長



発表会場の様子



発表の様子(伊崎さん)



発表の様子(松山さん)



発表の様子(山田さん)



発表の様子(長田さん)



発表の様子



質問する審査員



懇談会挨拶(大西支部長)



懇談会挨拶(白井部長)



懇談会挨拶(新家会長)



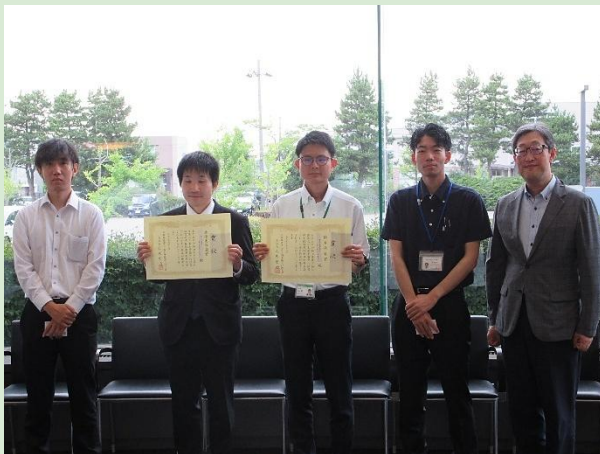
歓談の様子



表彰を受ける山田さん



表彰を受ける松山さん



発表者の皆さんと大西支部長



講評(中野先生)



歓談の様子



中締め(清水会長)

令和 7 年度 北陸支部事業計画

1. 行事等実施計画

行 事 名 等	内 容	時 期	場 所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	4 月	長岡市
北陸支部役員会	年 2 回の定例会議	6 月、12 月	富山市
公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	7 月	金沢市
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部業務説明年 1 回の定例報告会	7 月	金沢市
(公社)日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る発表会	7 月	金沢市
公共測量講習会	測量計画機関（発注者）を対象とした講習会	1 1 月	福井市

2. 支部主催講習会計画

講 習 会 名	開催予定	会 場
測量数学・誤差学の基礎(Web)	4 月 1 8 日	富山市 (富山県教育文化会館)
U A V 取得データを用いた写真測量と地形図作成	5 月 15 日～16 日	富山市 (富山県教育文化会館)
ネットワーク型 R T K 法による基準点測量	6 月 5 日	富山市 (富山県教育文化会館)
U A V を用いた空中写真測量	7 月 1 7 日	金沢市 (石川県地場産業振興センター)
G N S S による基準点測量	7 月 3 1 日	金沢市 (石川県地場産業振興センター)
3 D 地形点群モデル解析基礎技術	8 月 2 1 日	富山市 (富山県教育文化会館)

UAV取得データを用いた災害地の計測と調査	10月14日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
TSによる3・4級基準点測量	11月13日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
三次元点群測量(Web)	11月26日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	12月4日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
実務者向けセミナー(ビデオ講習会)～三次元計測技術の活用～	12月9日	金沢市 (石川県地場産業振興センター)
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量	12月16日	福井市 (福井県国際交流会館)
測量士答案練習セミナー(Web)	3月2日～6日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
測量士補答案練習セミナー(Web)	3月16日～19日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)

参考：本部主催講習会

講習会名	開催予定日	会場
路線測量設計課程Ⅰコース(Web講習)	5月20日～5月23日	富山市(測量会館)
基準点測量A課程測量平均コース(Web講習)	7月22日～7月25日	富山市(測量会館)
基準点測量A課程測地論コース(Web講習)	9月1日～9月6日	富山市(測量会館)
路線測量設計課程Ⅱコース(Web講習)	10月6日～10月10日	富山市(測量会館)
基準点測量B課程基準点測量コース (実習なし)	10月21日～10月27日	富山市(測量会館)

3. 会員サービス

- ① 基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
- ② 正会員に対する測量CPD登録代行事務(無料)
- ③ 北陸支部報のウェブサイト刊行 年2回(8月及び1月)
- ④ メールマガジン「北陸支部通信」の配信 月1回

行事等の報告

○支部役員会

令和7年6月24日（火）のWEB開催による役員会において、7月8日の「北陸支部業務報告会」、「空間情報技術事例発表会」及び「懇談会」について、それぞれの内容を役員に説明し、意見を伺いました。

事務局から北陸支部業務報告会・公共測量品質管理優秀賞表彰の内容及

び空間情報技術事例発表会の流れについて説明を行いました。

また、令和7年度の北陸支部役員については、各県の（一社）県測量設計業協会役員の改選等がなかったことから今年度の役員変更はない旨の確認を行いました。

○「とやま地図作品研究会」総会を開催

第16回とやま地図作品研究会総会を5月13日（火）に測量会館で開催しました。

スケジュールは、6月に県内小中学校に募集案内とチラシ等を配布、9月の1ヶ月間作品を募集し、10月に一次審査、本審査会を開催して入賞作品を決定します。11月22日～24日にファボー

レ（富山市）で入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の初日（22日）に同会場で行うことにしています。

最優秀作品を国土交通大臣賞・文部科学大臣賞候補作品に推せんし、その他優秀作品については、全国児童生徒地図優秀作品展に出展することにしています。

○「UAV取得データを用いた写真測量と地形図作成」講習会を開催

令和7年5月15日（木）、16日（金）に富山市の「富山県教育文化会館」において、『UAV取得データを用いた写真測量と地形図作成』の講習会を開催しました。

近年、UAV（無人航空機）の登場に伴い、デジタルカメラを装着し、地上50～150mの高度から地上を撮影して測量する技術が急速に普及しました。国土地理院も『UAVを用いた公共測量マニュアル（案）』を作成し（2020年3月31日「作業規程の準則」に組み込まれました）、公共測量の新たな手法とし

て位置づけています。この流れに適応していくためには、これまで地上測量をメインで行っていた測量技術者にも、写真測量の知識や技術の習得が求められています。

この講習会では、UAVで取得したデータを用い、公共測量としての地形図作成に求められる三次元データがどのようなものであるかを理解し、データ処理手順と精度管理方法等について実習を通じて習得します。

講習会には20名の参加者があり、好評の講習会でした。

○「ネットワーク型RTK法による基準点測量」講習会を開催

令和7年6月5日（木）に富山市の「富山県教育文化会館」において、GNSS測量技術を用いた『ネットワーク型RTK法による基準点測量』の講習会を開催しました。

本講習内容は、「令和5年3月31日に改正された公共測量作業規程の準則」等

に基づく作業計画から平均計算までの解説及び『主要な成果品の作成・とりまとめ』などについて解説します。なお、基準点測量では特に重要な『平均計画図・平均図・観測図』の作成演習も実施いたします。講習会には25名の参加者があり、好評の講習会でした。

○「GNSSによる基準点測量」講習会を開催

令和7年7月31日（木）に金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、『GNSSによる基準点測量』の講習会を開催しました。

GNSSによる基準点測量の観測方法は、『標準的なスタティック法・電子基準点のみを既知点とするスタティック法』及び今後利用の拡大が期待される『ネットワーク型RTK法』など多くの観測方法があります。また、測位衛星もGPS衛星だけではなく他の測位衛星の利用も可能になったことから、適用範

囲の拡大、観測作業の効率化・高精度化などが期待されています。

本講習会は、GNSSによる基準点測量で使われている全ての観測方法に加え、地理情報標準による『品質評価表・メタデータの作成』など、全ての作業工程について解説いたします。なお、GNSSによる基準点測量で特に重要な『平均計画図・平均図・観測図』等の作成演習も実施いたします。

講習会には18名の参加者があり、好評の講習会でした。

令和6年度 会員の増減状況

会員種別	R6. 3. 31	R7. 3. 31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 3 7	5 3 1	- 6	2 3 2 (- 8)	1 0 1 (- 1)	1 4 2 (+ 2)	5 6 (+ 1)
準 会 員	0	0	± 0	0 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)
特別会員	1 7 1	1 6 9	- 2	8 0 (± 0)	3 7 (- 1)	3 2 (- 1)	2 0 (± 0)
計	7 0 8	7 0 0	- 8	3 1 2 (- 8)	1 3 8 (- 2)	1 7 4 (+ 1)	7 6 (+ 1)

測量CPD及び測量技術者継続教育証明制度 (SUCCESS)

の登録、更新を行いましょう。

日本測量協会の会員（正会員、準会員、特別会員）は、13,500人を超えています。また、測量CPDの台帳登録者は、18,000人を超えています。

北陸支部における正会員は、若干減少傾向にはありますが令和7年7月末で530名に達しています。



☒ ☺☺☺☺☺ ☺☺☺☺☺ ☺☺☺☺☺ ☺☺☺☺☺ ☒

編集・発行 公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・ TEL 076 (422) 3305 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku@jsurvey.jp

○ 技術センター ・ TEL 076 (421) 5445 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku-geo@jsurvey.jp

☒ ☺☺☺☺☺ ☺☺☺☺☺ ☺☺☺☺☺ ☺☺☺☺☺ ☒